



もりおか

No119

令和8年2月号

農委だより

発行／盛岡市農業委員会

〒020-8532

盛岡市津志田 14 地割 37 番地 2

電話 019-639-9034 (業務係)

019-601-5072 (農地係)



ふるさと学習に取り組む巻堀小学校の児童たち

巻堀小 田植え・稲刈り・販売体験

令和7年10月31日(金)、盛岡市中ノ橋通の「プラザおでつて」前で、盛岡市立巻堀小学校の児童たちが地域の農家と協力して育てたお米「銀河のしずく」と「ヒメノモチ」の販売を行いました。

巻堀小学校では毎年、ふるさと学習の一環として、田植えから稲刈り、収穫したお米の販売までを体験し、食への理解を深めるとともに、地域の自然や人々とのつながりを育んでいます。

児童たちは、田植えではハンドルを離しても真っすぐ植えられる最新の田植え機の性能に驚いたり、稲刈りでは倒れた稲を慎重に刈り取るなど、難しい作業も上手にこなしました。

ふるさと学習における「広げる活動」として行った販売活動では、「新米いかがですか!」と大きな声を出すことに最初は恥ずかしさを感じていましたが、自分達が手がけたお米を買って喜んでもらえたことに、とても嬉しそうでした。

今回は、お米の販売に加え、地域に伝わる伝統芸能「巻堀神楽」の披露や、花崗岩「姫神小桜」を加工したストラップの販売も行い、巻堀地域の魅力を広く伝えることができました。

このような田植え・稲刈り・販売といった貴重な体験を通じて、児童たちが農業に対して興味を持ってくれることを願い地域で協力してまいりました。地域の農業従事者にとっても、農業の楽しさを改めて実感する機会となりました。

今後も農業現場からさまざまな人に農業の魅力を発信し、理解と協力を広げていきたいと思っています。

(巻堀地区調査会)

農業施策に関する「意見・要望書」の提出

本市の農業振興のため、市農業施策について、農業者からの意見・要望を集約し、令和7年10月22日（水）に市長へ農業施策に関する「意見・要望書」を提出しました。

また、令和7年12月1日（月）に「令和7年度 盛岡市農業委員会農政懇談会」を開催し、北田会長ほか農業委員、農地利用最適化推進委員と、内館市長や関係部課長らの出席のもと、農業者の声を市の農業施策へ届けるための懇談を行いました。

主な内容は次のとおりです。

【提出した主な意見・要望】

1 全市的要望（5項目 23 要望）

(1) 農地の集積・集約化対策について

- ・「離農者」と「担い手」を円滑につなぐ体制づくりや支援策について

(2) 遊休農地対策の充実強化について

- ・市の遊休農地対策への展望について

(3) 担い手・経営対策について

- ・農産物の適正価格販売に対する消費者理解促進について
- ・高騰する資材等への補助の継続的な実施について

- ・新規就農者に対する経営支援や農業研修への補助について

(4) 鳥獣被害対策・中山間対策・基盤整備・保全管理について

- ・電気柵設置経費の補助について
- ・狩猟免許取得費の補助について
- ・中山間地域の農地保全について

(5) その他農業振興対策について

- ・農地等の災害復旧について

2 地区要望（3 要望）

- ・水路等の整備について

詳細は
こちらから



新たな農業挑戦を応援

令和7年10月17日（金）、市長の新規就農者激励訪問が行われました。今回激励を受けたのは2名。それぞれのほ場へ訪問して、市長から就農者に激励状授与の後、ほ場の見学が行われました。

激励状受領者の1人である渋民地区の高橋吉彰（よしあき）さん（43歳）は、家業の酪農に従事して5年目。昨年、経産牛25頭規模の経営を継承して経営者としてスタートし、将来的には規模を拡大して法人化を目指しています。

市長は激励状受領者の取組にエールを送りました。

農の魅力 美食王国もりおかを体感

令和7年10月25・26日（土・日）の両日、もりおか歴史文化会館前広場などで「第39回盛岡市農業まつり」が開催されました。

爽やかな秋晴れの下、オープニングセレモニーで餅まきが行われ、会場は多くの人で活気にあふれました。

会場では、盛岡産の農畜産物や特産品の直売をはじめ、例年好評の「盛岡りんご」の詰め放題や盛岡産食材を使ったカレーのおふるまいなど多彩なイベントが行われ、にぎわいを見せました。

2日間を通じて、多くの来場者が盛岡の秋の味覚を堪能しながら楽しみました。



餅まきで活気あふれる農業まつり会場



内館市長の激励を受ける高橋吉彰さん

農業委員・農地利用最適化推進委員を募集します

現農業委員・農地利用最適化推進委員の任期が令和8年7月19日で満了となることに伴い、次期農業委員等の募集を行います。

■農業委員の主な業務

- ・農業委員会の会議に出席し、農地転用や売買・賃借等の権利移動などに関連する現地調査、審議
- ・地域の農業者等の話し合いの場に参加し、担い手への農地集積・集約化の推進活動
- ・農地パトロールなどの遊休農地の発生防止・解消に向けた活動等

■農地利用最適化推進委員の主な業務

- ・地域の農業者等の話し合いの場に参加し、担い手への農地集積・集約化の推進活動
- ・農地パトロールなどの遊休農地の発生防止・解消に向けた活動等

■募集期間

令和8年2月2日（月）から令和8年3月2日（月）まで

■募集人数

農業委員 19人

農地利用最適化推進委員 26人

■任期

令和8年7月20日から令和11年7月19日まで

詳しくは盛岡市ホームページからご確認ください



ヤマナシなどを栽培する片山寛則さん

ヤマナシを保全、栽培する片山夫妻

「乙部で就農 研究から実践へ」

かつて山野や集落に自生していたイワテヤマナシを残そうと、盛岡市乙部で就農した片山寛則（ひろのり）さん（60歳）は、研究のパートナーでもある妻の千代美さんと共にヤマナシやリンゴ栽培に取り組んでいます。

片山さんは神戸大学院で教壇に立ち、環境省の絶滅危惧種に指定されているヤマナシの学術研究を27年前から続けていて、北東北、とりわけ盛岡市の山野に原生種が集中していることから何度も足を運んでいました。

ヤマナシを保全し、認知してもらうための利用を考えたい。大きな決断をして大学院を早期退職。兵庫県宝塚市から移住して、2年前にリンゴ園1.5畝を取得し、「片山農園やまなし&アップルファーム」として出発しました。ヤマナシはジャムとして販売しており、優れた香気を活かしてフルーツソースや実ナシのシロップ漬け、ソフトクリームの商品化など六次産業化にも取り組んでいます。また、「ふじは関西では食べられないほどおいしく、「盛岡りんご」のポテンシャルとクオリティの高さを感じた」と、ナシの苗木養成の他に、ふじなどリンゴ5品種も栽培し、今年は新たに100本の作付けも予定しています。

冬の寒さには悩まされながらも貴重な地域資源としての活用を目指しており、「果樹は病害虫防除などで大変だが、楽しくやらせてもらっている」と意欲的です。（乙部地区調査会）

盛岡市農地賃借料情報

令和6年12月から令和7年11月までに締結（公告）された農地の賃貸借における賃借料水準は、次のとおりです。
なお、賃借の際には、当事者間で十分な協議をしてください。

田の部（円／10a）

締結（公告） された地域名		平均額	最高額	最低額	処理件数 (件)
平 坦 地	A	6,100	10,000	4,000	545
	B	6,200	12,000	4,000	522
	C※	5,000	6,000	4,000	(参考)
準山間地 山間地※	D	5,000	6,000	4,000	2
	E				(参考)
市平均		6,200	合計件数		1,069

※平坦地Cと山間地について、データがないため準山間地と同じ数値としています。（市平均・合計件数には、カウントしていません）

畑の部（円／10a）

締結（公告） された地域名		平均額	最高額	最低額	処理件数 (件)
普通畑	市内全域	5,600	8,300	3,000	45
果樹畑		6,400	10,000	3,000	(参考)
飼料畑 牧草畑 (平坦地)	玉山地域 平坦地 A、B 準山間地	4,900	8,000	2,800	38
飼料畑 牧草畑 (山間地)	玉山地域 山間地※	1,800	2,000	1,400	21
市平均		4,600	合計件数		104

※果樹畑について、データが少ないため令和6年度と同じ金額としています。

地域の区分

平坦地	A	太田、本宮、飯岡
	B	繫、厨川、旧盛岡、中野、見前、乙部、 【玉山地域平坦地A】寺林、玉山永井、巻堀、元好摩、中塚上山、野中、馬場状小屋、 芋田向、小袋、松内、大台、芋田、武道、渋民、山田、川崎、下田、舟田、柴沢、 門前寺、白沢
	C	上米内、【玉山地域平坦地B】生出、生出野、生出谷地、川又
準山間地	D	築川、川目、大ヶ生、根田茂、砂子沢、 【玉山地域準山間地】桑畑、永井沢、好摩沢、沢目、尻志田、刈屋、日戸
山間地	E	【玉山地域山間地】姫神、前田、城内、山谷川目、釘の平、西郡、砂子沢、薮川

～盛岡市収入証紙が廃止されます～ (令和8年4月1日以降)

盛岡市収入証紙が令和8年3月31日（火）をもって廃止となります。これに伴い、農業委員会で発行する各種証明申請の手数料納付方法を変更します。

■ 新しい納付方法

窓口での現金納付

申請時に窓口で直接現金をお支払いください。

■ 旧収入証紙について

盛岡市収入証紙は使用できません。

農業者年金に加入しませんか！

～将来の安心のために～

農業者年金の特徴・メリット

- ① 農業者の方なら広く加入できます。
- ② 一定の要件を満たせば国庫補助があります。
- ③ 税制面での優遇措置を受けられます。
- ④ 終身年金で安心です。

詳しくは農業委員会事務局、JAの窓口、あるいは農業者年金基金HP（右記二次元コード）からご確認ください。



農地の売買・貸借希望 情報

	No	農地の所在	地目	面積	申出価格
売 渡	1	上太田穴口	田	17a	応談
	2	乙部26地割	田	45a	応談
	3	上飯岡24地割	畑	16a	応談
借 受	1	厨川地域	田	10a以上	応談



新規の農地情報をお知らせします。
この他にも情報がありますので、
希望する方は、お問い合わせください。
農地係 ☎601-5072
玉山分室 ☎683-3856

全国農業新聞を購読しませんか

1週間の農政の動きや現場で役立つ栽培技術・流通の情報、魅力的な農家の取組などを幅広く伝え、経営発展に役立つ新聞です。

- 発行日 毎週金曜日
- 購読料 1ヶ月※700円(送料・税込)
- 申込み 農業委員会事務局

※令和8年4月から購読料は900円になります。



詳しくはホームページからご確認ください